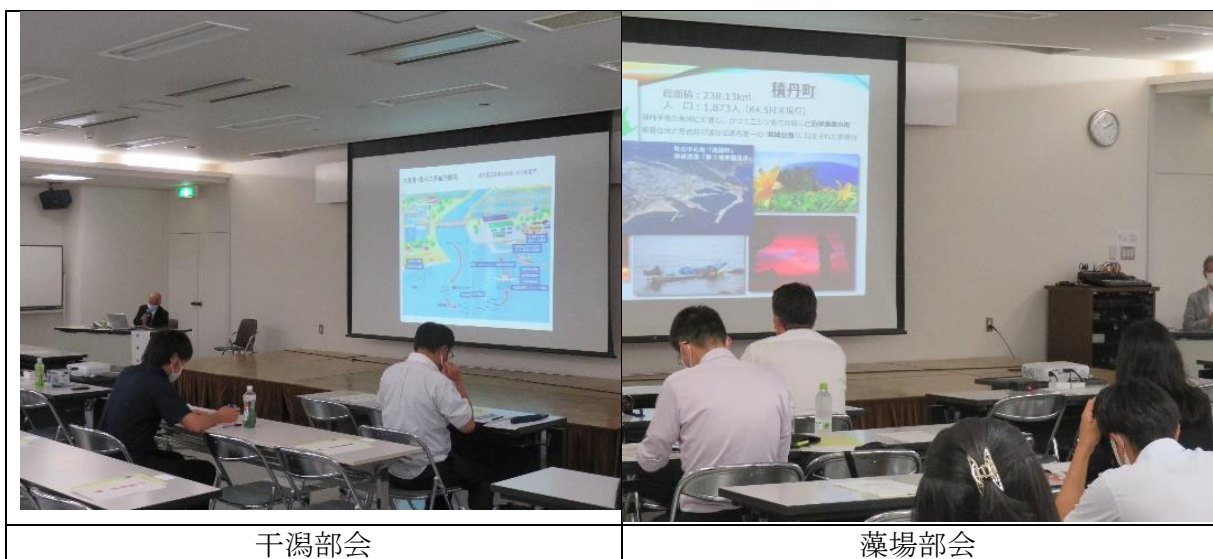


- ・講習会場内の密集を避けるため大きな会場を用意することにより座席の間隔を十分確保した。
- ・参加の際はマスク着用とした。
- ・37.5℃以上の発熱、咳等の体調不良の場合は講習会への参加を禁止した。
- ・質疑応答のマイクは事務局による持ち回り式ではなく会場内にスタンドマイクを設置し、質問者に移動して質疑応答を行った。
- ・会場施設の機器による会場内の十分な換気に努めた。また、機器がない会場においてはドアや窓を開け十分な換気を行った。
- ・午前と午後の部会の使用会場を替えることにより座席の重複使用が起こらないようにした。また、午前と午後の部会が同じ会場での開催となった場合は午前と午後で違う座席を指定することにより座席の重複使用が起こらないように配慮し、休憩の間にドアノブ等の消毒を行った。
- ・Web参加者が可能な名古屋会場では環境・生態系保全対策活動（藻場、干潟、サンゴ礁、内水面）と海の安全確保部会に加え来年度予算要求の枠を設けコロナ禍での参加に配慮した。又、同様に会場参加できない事例紹介者についても活動組織の地元と名古屋会場とをネット回線を利用しオンラインで行った。





海の安全確保部会



個別相談

図 2-1-5(1) 講習会の開催状況（札幌会場）



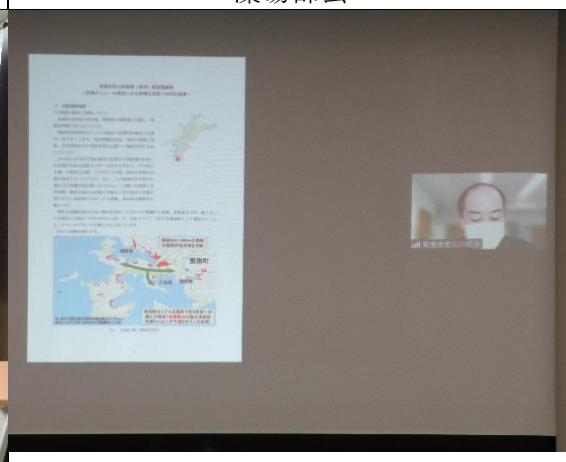
来年度予算の説明



藻場部会



干潟部会



海の安全確保部会



サンゴ礁部会



内水面部会



個別相談

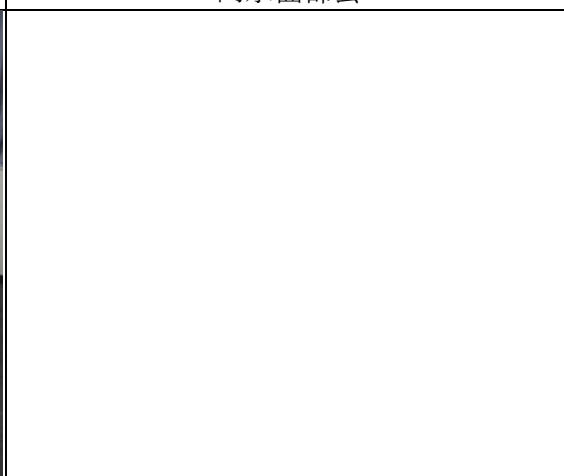


図 2-1-5(2) 講習会の開催状況 (名古屋会場)



藻場会



干潟部会



図 2-1-5 (3) 講習会の開催状況（福岡会場）

(4) アンケート結果

藻場、干潟、内水面、サンゴ礁及び海の安全確保部会の参加者に対してアンケートを行った。以下、各会場で実施したアンケート（図 2-1-6）の結果を示す。

札幌会場では事務局、関係団体、コーディネーター、事例報告者を除いた延べ 94 名のうち、84 件の回答を得た（回答率 89.4%）。名古屋会場では延べ 25 名のうち、25 件の回答を得た（回答率 100.0%）。福岡会場では延べ 109 名のうち、99 件の回答を得た（回答率 90.8%）と高い回答率であった。特に名古屋会場の会場出席者の回答率が全ての部会で 100.0%であったが、一方、Web 参加は延べ 154 名のうち、54 件の回答を得るに留まり回答率は 35.1%であった。

令和4年度水産多面的機能発揮対策講習会 アンケート

このたびはご多用の中、講習会を受講していただきありがとうございました。

参加者の皆様からのフィードバックをもとに、今後の講習会の内容を充実させてまいりたいと考えております。

つきましては、アンケートにご記入のうえ、ご意見・ご感想をお聞かせくださいますようお願いいたします。

会 場	札幌	名古屋	福岡	参加回数	今回を含め	回目
部 会	藻場部会	干潟部会	内水面部会	サンゴ礁部会	海の安全確保部会	
所 属	活動組織	地域協議会	市町村	都道府県	その他	都道府県
職 業	漁業者	漁協・漁連	公務員	団体職員	その他（ ）	年 齢
(1) 内容は今後の活動の参考になりましたか？ ☐ 大変参考になった ☐ 一部参考になった ☐ 参考にならなかった 理由をお書きください。						
(2) 今回の講習会で得た知識、技術等をどの様に活用するかをお書きください。						
(3) 過去の講習会に参加して、その内容を取り入れた技術や事柄等があればお書きください。						
(4) 今後の講習会について、開催地や時期、部会テーマ等のご要望とその理由をお書きください。						
(5) その他感想・意見等をお書きください。また、講師に対する質問があるばお書きください。						
(6) 所属及び氏名をお書きください。（任意記入） ※（5）で講師に対する質問を記入された場合は、必ず連絡先も併せてお書きください。						
所 属：			電 話：			
氏 名：			メー ル：			

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

今年度は講習会での質疑応答時間外の参加者の疑問点に対応するため、講師に対する質問欄を設けた。

●アンケート結果

札幌会場：北海道 57、石川県 4、長崎県 6、無回答 17